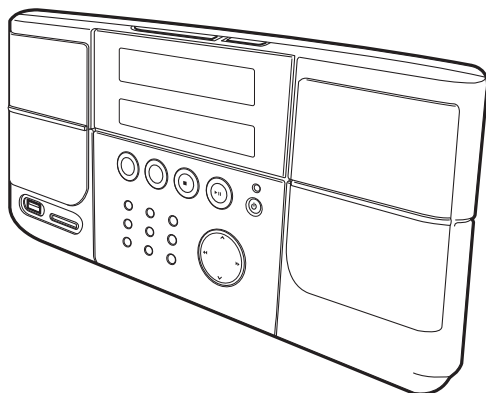


取扱説明書 (保証書別途添付)

このたびはサウンドルックステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目 次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
設置場所について	4
各部のなまえ	5~6
ハンドルの使いかた	6
電源について	7
家庭用電源で使うには	7
乾電池で使うには	7
バックアップ用電池について	7
時計の合わせかた	8
カレンダーの合わせかた	8
CDを聴く	9
ディスプレイの表示について	9
いろいろな演奏のしかた	10
プログラム演奏	10
リピート/ランダム演奏	10
イコライザー機能	10
MP3ファイルについて	11~13
USB機器について	11
SDカードについて	11
再生の準備	11
フォルダの表示について	12
再生の順序	13

MP3ファイルを聴く	14
再生する	14
リピート/ランダム演奏	14
ラジオを聴く	15
プリセット機能	15
外部音声機器を聴く	16
USB機器/SDカードに録音する	17~20
録音データについて	17
CDから録音する	18
再生中のラジオ/外部音声機器から録音する	19
録音時間を設定してラジオから録音する	20
アラームの使いかた	21
スヌーズ機能	21
スリープ機能	22
市販のヘッドホン/イヤホンで聴く	22
お手入れのしかた	23
仕様	23
故障かな?と思われたときは	24~25
RESETスイッチについて	25
アフターサービスについて	25
お客様の個人情報のお取り扱いについて	27
お客様相談窓口	27

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



ACアダプターのプラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る
ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

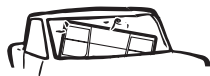
落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれて回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

- お客様が録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- 本機の不具合により録音や再生できなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
- いかなる場合においても当社にて録音内容の修復、復元、複製などはいたしません。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 本機はすべてのSDカードに記録されている音楽ファイルの再生を保証するものではありません。

ご使用になる前に

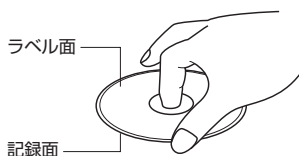
CDについて

CDの種類

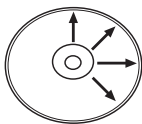
-  マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク (ファイナライズされたもの※) を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベル面がはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

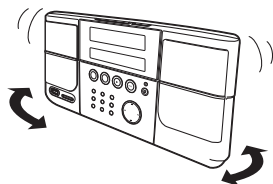
円形以外 (ハート型など特殊形状) のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内部蔵)

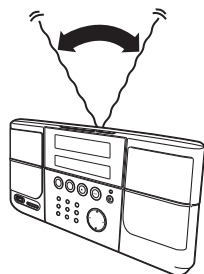


ご注意

AMラジオを録音するとノイズが入ることがあります。

FM放送の場合

できるだけ高いところにFMアンテナを張ってください。



ご注意

● 次のような場所では使用・保管しないでください。

- 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ちりやほこりなどの多い場所。
- 風呂場など湿気の多い場所。
- テレビやチューナーなどのそば。
雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

● 温度が低い環境で操作されると、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。
その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。

● キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

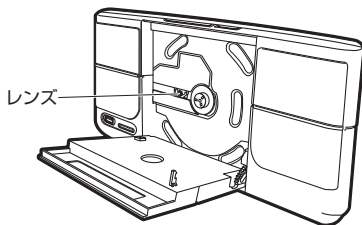
● レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。

● 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



各部のなまえ

本体

CDドア

ディスプレイ

バックライトについては、
P. 7「ディスプレイのバック
ライトについて」を参
照ください。

USBコネクター

SDカードスロット

「録音/スヌーズ/ライト」ボタン

アラーム動作中以外の時に押すと
ディスプレイの点灯ON/OFFができます。

「あける」ボタン

電源ランプ

スピーカー

操作部

バッテリーマーク

乾電池での使用時に乾電池が消耗
していると点滅表示されます。

「アラーム」ボタン

「ファンクション」ボタン

「再生モード」ボタン

「プリセット(+)(-)」ボタン

「フォルダ(+)(-)」ボタン

「イコライザー」ボタン
ROCK/POP/CLASSIC/JAZZ
から選択できます。

「設定」ボタン

押す回数で各機能の設定モード
に切り替えます。

「電源(⏻)」ボタン

電源切の状態ではディスプレイに
時計・カレンダーが表示されます。

「聴く/一時停止(⏸)」ボタン

「止める(■)」ボタン

「音量(+)」ボタン
0~30まで調節できます。

「スキップ/選局(⏮)(⏭)」ボタン

「メモリー/プログラム」ボタン

「スリープ」ボタン

押す回数	設定モード
1	アラーム時刻
2	アラーム音源
3	現在時刻
4	24時間/12時間表示切替
5	西暦
6	月日

背面

ヘッドホンジャック

市販のヘッドホン/イヤホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。(P. 22参照)

AUX端子(外部入力端子)

外部音声機器と市販の接続コード(φ3.5mmステレオミニプラグ)をつなぎます。(P. 16参照)

電池ふた

バックアップ用電池ふた

DC INジャック(ACアダプター差込口)

付属のACアダプターをつなぎます。(P. 7参照)

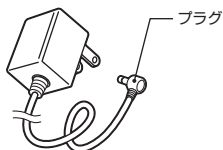
FMアンテナ

ハンドル

付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

●ACアダプター(型番:SAD-9001)



プラグ

●取扱説明書

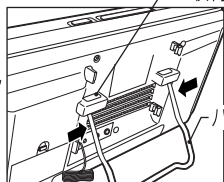
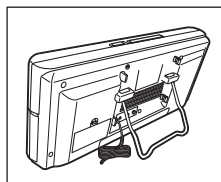


●保証書



ハンドルの使いかた

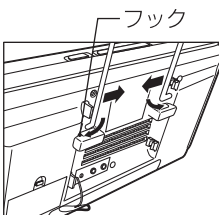
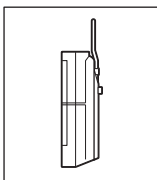
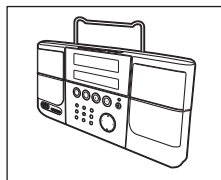
卓上用 ■ハンドルを起こし、卓上用として使用します。



矢印の方向にハンドルを押し、下に引くと取付穴から取り外せます。

※再度取り付ける時はハンドルの方向に注意してください。

持ち運び／壁掛け用



フックにハンドルがかかるように、ハンドルを内側へ押さえながら取付穴に差し込みます。

※ハンドルの方向に注意してください。正しくセットしないと落下や転倒の原因となります。

ご注意

壁かけする際は、壁の厚さが10mm以上の板、もしくは桟のある場所に取り付けてください。土壁、繊維壁には直接掛けないでください。使用中に落下するおそれがあります。

電源について

家庭用電源で使うには

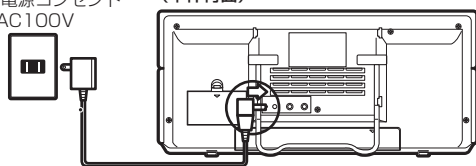
1. ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックへ差し込む。
2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

家庭用電源コンセント
AC100V

(本体背面)



ACアダプター (型番: SAD-9001)

※付属のACアダプターは、SDD-4337専用です。
他の製品には使用しないでください。

※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

ディスプレイのバックライトについて

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンで常時点灯/消灯を選ぶことができます。

乾電池で使うには

※乾電池で使用するときは、ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックから抜いてください。

ACアダプターが差し込まれていると乾電池で使えません。

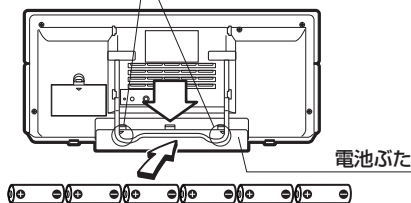
1. 電池ぶたを開ける。
2. 単3形乾電池6本(別売)を右図のように入れ、電池ぶたを閉める。

ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

この部分を指で押さえながら、
矢印の方向に押します。



電池ぶた

単3形乾電池6本 (別売)

ディスプレイのバックライトについて

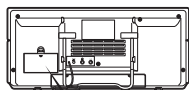
乾電池の消耗を防ぐためにボタン操作後、約10秒後に自動的にバックライトが消灯します。「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押すことで、一時的にバックライトが点灯します。

乾電池の交換目安

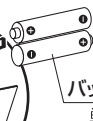
乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。このようなときや、ディスプレイにバッテリーマークが点滅表示されたとき(P. 5参照)は、新しい乾電池と交換してください。

バックアップ用電池について

■停電時や乾電池切れの時に、「設定」ボタンで設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。



※単3形乾電池2本(別売)を極性(+、-)を間違えないように入れてください。



バックアップ用電池
単3形乾電池×2

バックアップ用電池ぶた

ご注意

- 本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。
- 乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
 - 長期間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

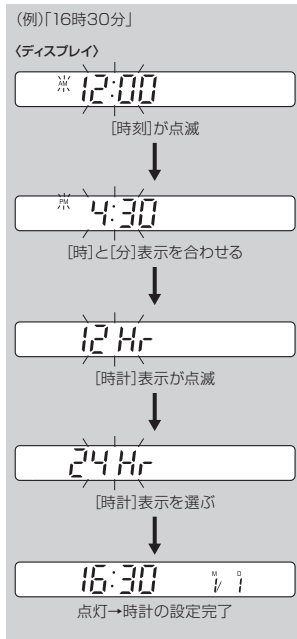
バックアップ用電池の交換目安

ACアダプター使用有無にかかわらず約1年です。
(アルカリ乾電池使用時)

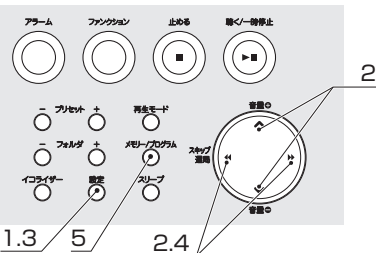
時計の合わせかた

電源「切」の状態

1. 「設定」ボタンをゆっくり3回押す。
2. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで「時」表示を、「音量(⊕)(⊖)」ボタンで「分」表示を合わせる。
3. 「設定」ボタンを押す。
4. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで「時計」を選ぶ。
[12 Hr] ... 12時間表示
[24 Hr] ... 24時間表示
5. 「メモリー / プログラム」ボタンを押して設定を保存する。



操作部



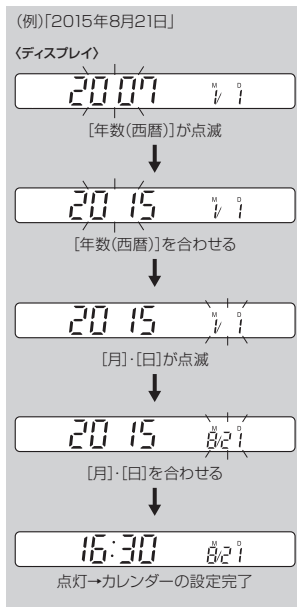
※約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

- 演奏中、「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押し続けている間、時計が表示されます。

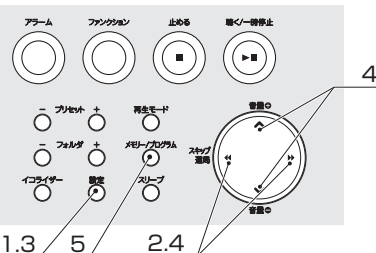
カレンダーの合わせかた

電源「切」の状態

1. 「設定」ボタンをゆっくり5回押す。
2. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで「年数(西暦)」を合わせる。
3. 「設定」ボタンを押す。
4. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで「月」表示を、「音量(⊕)(⊖)」ボタンで「日」表示を合わせる。
5. 「メモリー / プログラム」ボタンを押して設定を保存する。



操作部



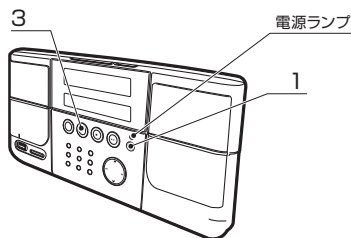
※約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。
ご使用前に保護シートを取り外してください。

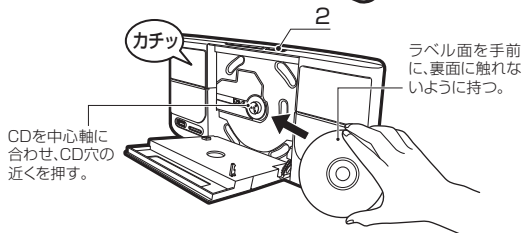
1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ランプが点灯します。



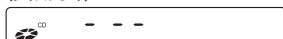
2. 「あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。

- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。
- ※CD-R/RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



3. 「ファンクション」ボタンを押して[CD]を選ぶ。

(ディスプレイ)



- ディスプレイに総曲数が表示された後、1曲目から演奏が自動的に始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。
- 演奏停止後、無操作の状態で約10分間経過すると自動的に電源が切れます。

音量を調節する	「音量(+) (-)」ボタンを押す。	早送り・早戻しする	演奏中／一時停止中に 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンを押し続ける。 ● ボタンから指を離すと演奏に戻る。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。	曲の頭を探す(スキップ)	演奏中／一時停止中 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンを押す。
一時停止する	「聴く／一時停止(▶)」ボタンを押す。 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。		停止中 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、 「聴く／一時停止(▶)」ボタンを押す。

ディスプレイの表示について

停止中

総曲数が表示されます。

(例)



「no」と表示された場合



以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？ (P. 23参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？ (P. 4参照)

※正常に作動しているときは、ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、CDや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーコントロールCDは再生できない場合があります。
- 直接ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

いろいろな演奏のしかた

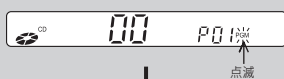
プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

停止中に

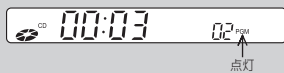
1. 「メモリー/プログラム」ボタンを1回押す。
2. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンでお好みの曲を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。
3. 上記2の操作を繰り返し、予約していく。
 • 最大20曲まで予約することができます。
4. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
 • プログラム演奏が始まります。

(例) プログラム番号1に曲番号2を予約

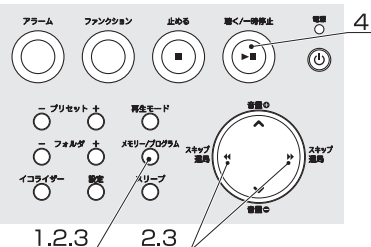
〈ディスプレイ〉



プログラム演奏中



操作部



予約順を間違えたとき

[PGM]が点滅しているときに、「メモリー/プログラム」ボタンを1回押す。
(再度、手順1から操作しなおし、曲番号を予約してください。)

一度停止したあと同じプログラムで演奏をしたいとき

「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。

プログラムを解除する

停止中に

「止める(■)」ボタンを押す。

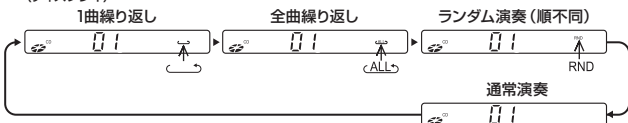
リピート/ランダム演奏

演奏中/一時停止中に

「再生モード」ボタンで再生モードを選ぶ。

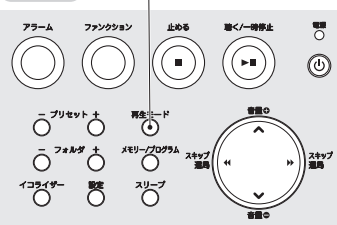
- 押すごとに設定が変わります。

〈ディスプレイ〉



操作部

「再生モード」ボタン



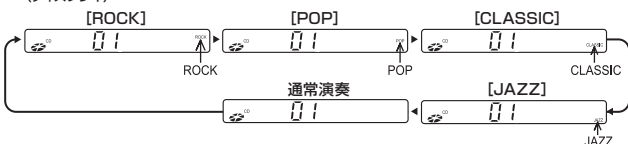
イコライザー機能 (お好みの音質で聴く)

演奏中/一時停止中/停止中に

「イコライザー」ボタンを押す。

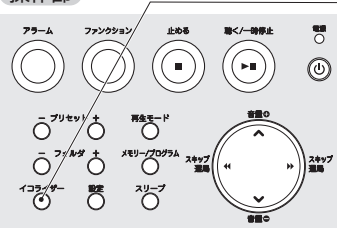
- 押すごとに設定が変わります。

〈ディスプレイ〉



操作部

「イコライザー」ボタン



MP3ファイルについて

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

■USB機器あるいはSDカードに保存された音楽ファイル(MP3ファイル)を聴くことができます。

USB機器について

USB2.0 **FAT16/32** 対応

- USBマストレージクラス対応のUSB機器をご使用ください。

それ以外のUSB機器を使用すると、正常に再生できない場合があります。また、上記規格に準拠したUSB機器でも種類や形状によっては、正常に再生できない場合があります。

- 使用するUSB機器がUSBマストレージクラスに対応しているかどうかは、USB機器メーカーにお問い合わせください。

万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

SDカードについて

FAT16/32 対応

- SD規格に準拠したSDカードおよびSDHC規格に準拠したSDHCカードをご使用ください。
- 64MB～2GBのSDカード、4GB～32GBのSDHCカードが使用できます。
 - マルチメディアカード(MMC)は使用できません。
- miniSD/miniSDHCカード、microSD/microSDHCカードは専用アダプターが必要です。
- SD/SDHC、miniSD/miniSDHC、microSD/microSDHCはSDアソシエーションの登録商標です。

※SDカード裏面の金属端子部に手や金属で触れないでください。

再生の準備

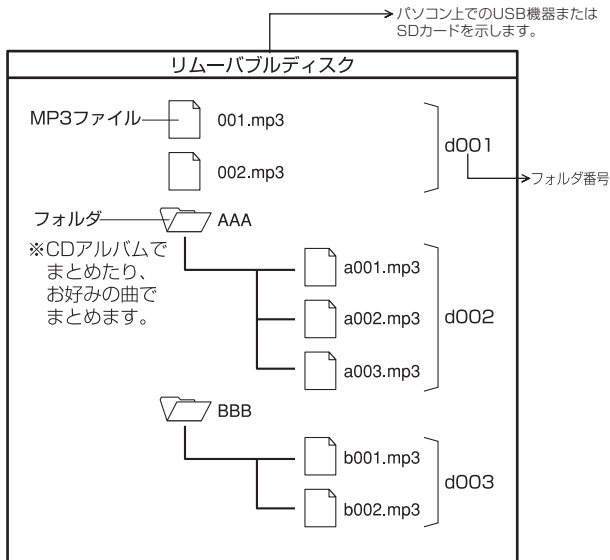
右図を参照し、お持ちのパソコンでUSB機器またはSDカードにMP3ファイルを転送してください。

- リムーバブルディスク内にMP3ファイルを直接転送した場合、本機はUSB機器/SDカード自体をひとつのフォルダとして認識します。

※右図のファイル名/フォルダ名は、説明のため便宜上につけたものです。

ファイル名/フォルダ名を変更する必要はありません。

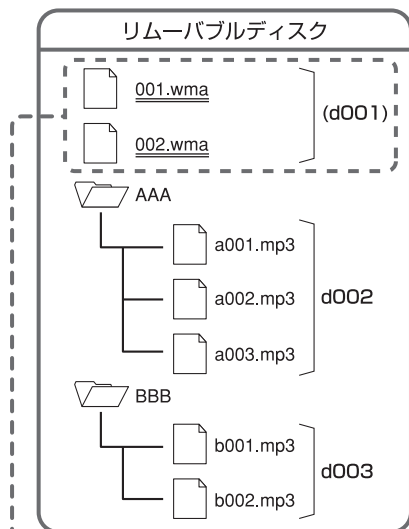
USB機器/SDカード内の構成



フォルダの表示について

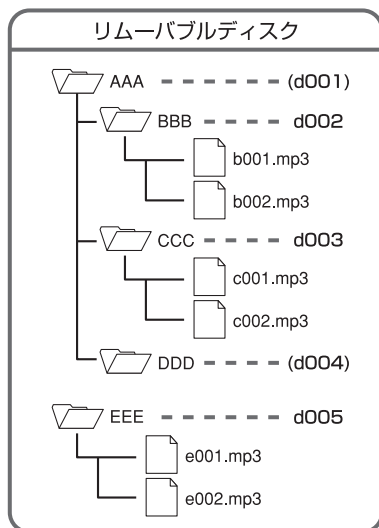
下図のような場合、フォルダ番号が本機のディスプレイには表示されません。
ファイル転送時にはご注意ください。

・MP3ファイル以外が記録されている場合



MP3ファイル以外が記録されている場合
(図では wma ファイルが記録されています)、再生時に本機のディスプレイにはフォルダ番号「d001」は表示されません。

・フォルダの中にフォルダが作成されている場合



フォルダの中にフォルダのある「d001」は、
この場合再生時に本機のディスプレイには
表示されません。またファイルが記録され
ていない「d004」も同様に表示されません。

上図どちらの場合でも、再生時にはフォルダ番号「d002」から表示され、そのなかに記録されたMP3ファイルを再生します。

MP3ファイルについて

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

再生の順序

- P.12の図の場合、USB機器またはSDカードに記録されたMP3ファイルは下記の順序で再生されます。

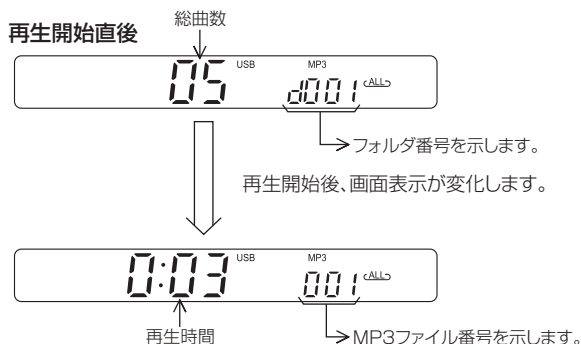
- MP3ファイル/フォルダは、下記の順番で認識され、再生します。

フォルダ名	ファイル名
「d001」 の	「001.mp3」
	「002.mp3」
「d002」 の	「a001.mp3」
	「a002.mp3」
	「a003.mp3」
「d003」 の	「b001.mp3」
	「b002.mp3」

再生の順序

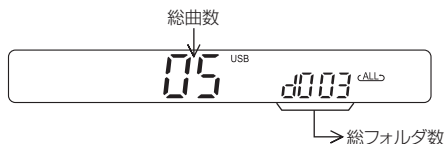
①	半角数字
②	半角アルファベット
③	ひらがな
④	全角カタカナ
⑤	漢字
⑥	全角数字
⑦	全角アルファベット
⑧	半角カタカナ

〈再生中の画面表示〉



※上記の場合、フォルダ「d001」のファイル「001.mp3」を再生していることを表しています。

〈再生停止中の画面表示〉

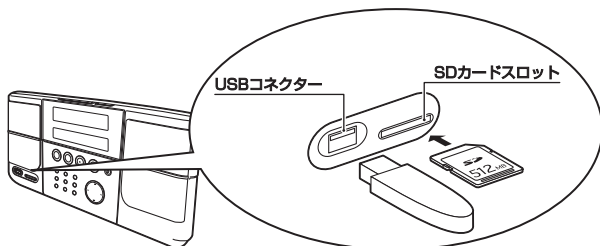


MP3ファイルを聴く

- 本機で再生できるのはMP3ファイルのみです。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- ID3タグには対応していません。

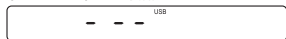
再生する

1. USB機器あるいはSDカードを本機に差し込む。
2. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。
 - 電源ランプが点灯します。
3. 「ファンクション」ボタンを押して[USB]または[SD]を選ぶ。

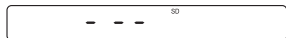


- SDカードは文字が書かれている面を上に向けて、SDカードスロットに差し込みます。

〈ディスプレイ〉USB機器のとき



〈ディスプレイ〉SDカードのとき



- 自動的に演奏が始まります。
- 全曲演奏が終わると、再び1曲目から演奏が始まります。(全曲繰り返し)

ご注意

- USB機器やSDカードによっては、読み込みに時間がかかる場合や、本機で正常に再生できない場合があります。
- 対象としている圧縮形式はMP3のみです。
- 本機からUSB機器やSDカードを取り外すときは、再生を停止し、電源を切り、数秒置いてから行ってください。
- パソコンなどでUSB機器/SDカードに音楽を保存する方法につきましては、パソコンメーカーにお問い合わせください。
- USB機器やSDカード再生中に振動や衝撃を与えたり、引き抜いたりしないでください。データ消失や故障の原因となります。

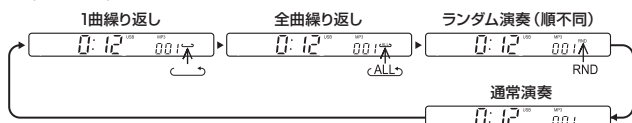
音量を調節する	「音量(+) (−)」ボタンを押す。	フォルダを選択する	「フォルダ(+) (−)」ボタンを押す。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。	曲の頭を探す(スキップ)	演奏中/一時停止中 「スキップ/選局(◀) (▶)」ボタンを押す。 ● 押し続けることで、早送り・早戻しができます。 停止中 「スキップ/選局(◀) (▶)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。
一時停止する	「聴く/一時停止(▶)」ボタンを押す。 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。		

リピート/ランダム演奏

演奏中/一時停止中/停止中に

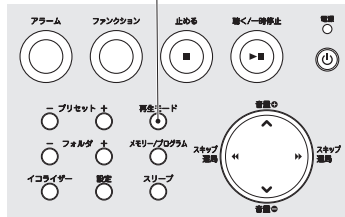
「再生モード」ボタンで再生モードを選ぶ。

- 押すごとに設定が変わります。
- 〈ディスプレイ〉



操作部

「再生モード」ボタン



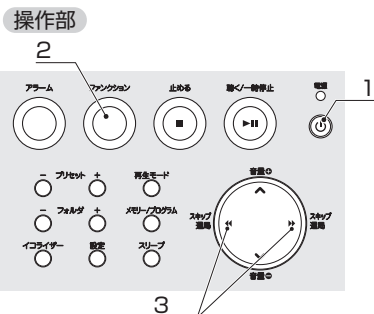
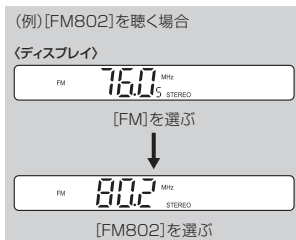
ラジオを聴く

1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。

●電源ランプが点灯します。

2. 「ファンクション」ボタンで[AM]または[FM]を選ぶ。

3. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで聴きたい局を選ぶ。



ステレオ/モノラルを切り換える	FM放送受信時 「再生モード」ボタンで切り換える。	〈ディスプレイ〉 ステレオ放送 FM 80.2 MHz STEREO [STEREO] 点灯	モノラル放送 FM 80.2 MHz MONO [MONO] 点灯
FMステレオ放送が雑音で聴き取りにくいとき	「再生モード」ボタンを1回押してモノラル放送に切り換える。	オートチューニング (受信できる局を自動的に探します。)	「スキップ/選局(◀▶)」ボタンを約1～2秒長押しする。
ラジオを切る	「電源(⏻)」ボタンを押して電源を切る。		

プリセット機能 (お好みの放送局を記憶させる)

■最大AM10局、FM10局まで記憶させることができます。

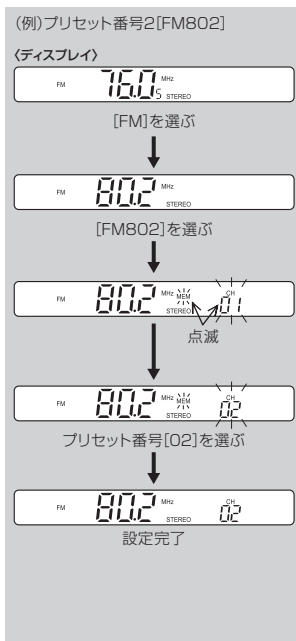
※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

手動で記憶させる

1. 「ファンクション」ボタンで[AM]または[FM]を選ぶ。
2. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで聴きたい局を選ぶ。
3. 「メモリー/プログラム」ボタンを押す。
4. 「プリセット(+)(-)」ボタンで記憶させたい[プリセット番号]を選ぶ。
5. 「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

ご注意

●確定させないと、記憶されません。
必ず「メモリー/プログラム」ボタンを押してください。



自動で記憶させる

1. 「ファンクション」ボタンで[AM]または[FM]を選ぶ。
2. 「メモリー/プログラム」ボタンを長押しする。
●1で選んだ[AM]または[FM]の10局がプリセット番号1～10に自動的に記憶されます。

記憶させた局を聴く

1. 「ファンクション」ボタンで[AM]または[FM]を選ぶ。



2. 「プリセット (+)(-)」ボタンで聴きたいプリセット番号を選ぶ。



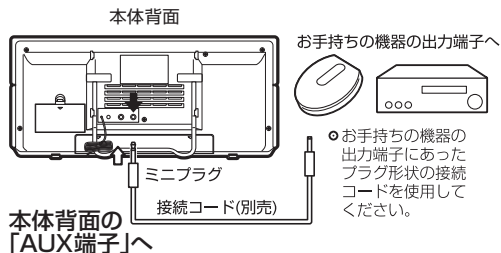
6. 上記1～5の操作を繰り返し記憶させていく。

※約5秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

外部音声機器を聴く

■外部の音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

つなぎかた



ご注意

外部の音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。

CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままになっていると、スピーカーから音が出ません。

1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。
 - 電源ランプが点灯します。
2. 「ファンクション」ボタンで[AUX]を選ぶ。
3. 外部に接続した音声機器の演奏をはじめる。

〈ディスプレイ〉



[AUX] 点灯

音量に過不足を感じるとき

本機と外部に接続した音声機器の両方の音量を調節する。

※外部に接続した音声機器の出力が小さく、音がうまく聞こえない場合があります。

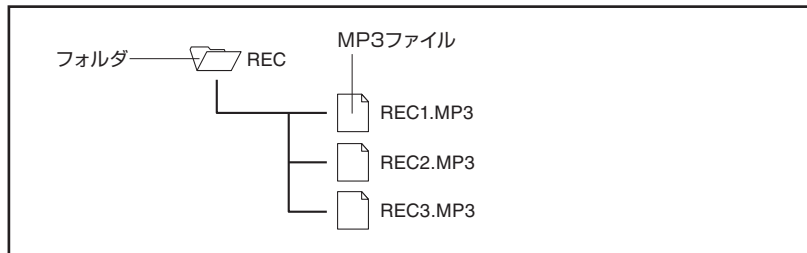
USB機器/SDカードに録音する

録音データについて

- 本機で録音したデータは、自動的にビットレート128kbpsのMP3フォーマットとして保存されます。
- 録音したデータは、自動的に下図のようにファイル名/フォルダ名がつけられます。

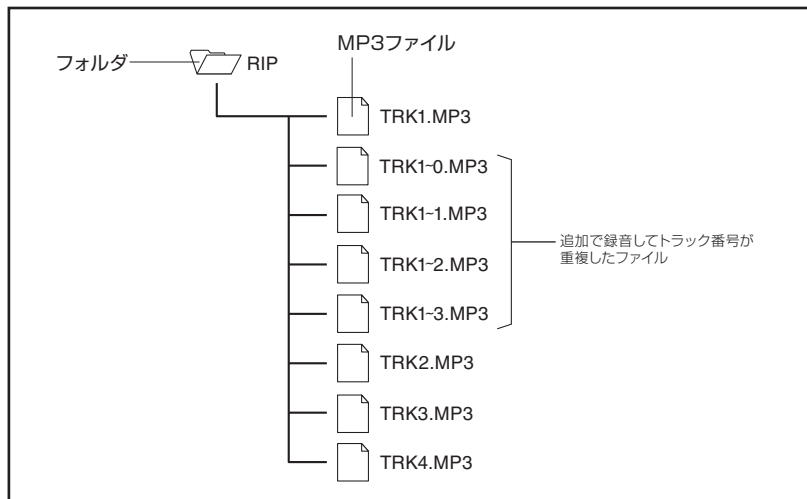
■ラジオまたは外部音声機器から録音した場合

- 録音した順に「REC1、2、3…」のファイル名で保存されます。



■CDから録音した場合

- CDのトラック順に「TRK1、2、3…」のファイル名で保存されます。
- 追加で別のCDから録音してトラック番号が重複した場合、「TRK●」のあとに「-0、1、2、3…」がつきます。



- USB機器やSDカードの容量がいっぱいになると、自動的に録音が止まります。
不要なデータを削除してから録音してください。

ご注意

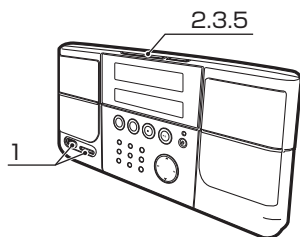
録音中は、USB機器やSDカードを抜かないでください。USB機器やSDカードの取り外しは、必ず録音を停止して電源を切り、数秒置いてから行ってください。

データの破損や故障の原因となります。

CDから録音する

電源「切」の状態

1. 録音に使用するUSB機器またはSDカードを本機に差し込む。(P. 14参照)
2. 「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。
3. 「音量(+)」(●)ボタンで[USB]または[SD]を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押して録音先を確定させる。
4. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れ、「ファンクション」ボタンで[CD]を選ぶ。



5. ■全曲録音する場合

停止中に

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。

■1曲のみ録音する場合

録音したい曲を再生中に

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。

- 録音が始まります。

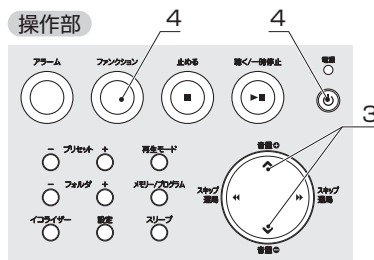
(例)USB機器に録音する場合

<ディスプレイ>



- 演奏が終了すると、録音も自動停止します。

操作部



録音を止める

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

「止める(■)」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

USB機器/SDカードに録音する

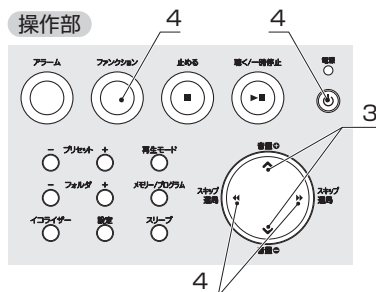
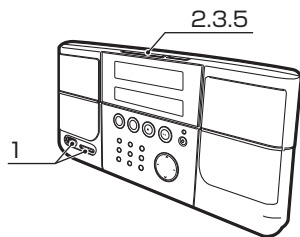
ご注意

- ラジオを録音する際は、電波の届きやすいところで行ってください。
- AMラジオを録音するとノイズが入ることがあります。

再生中のラジオ/外部音声機器から録音する

電源「切」の状態

1. 録音に使用するUSB機器またはSDカードを本機に差し込む。(P. 14参照)
2. 「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。
3. 「音量(+) (-)」ボタンで[USB]または[SD]を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押して録音先を確定させる。
4. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れ、「ファンクション」ボタンで[AM][FM][AUX]を選ぶ。
■[AM]または[FM]を選んだ場合
「スキップ/選曲(◀▶)」ボタンで録音したい局を選ぶ。
5. 「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。



- 約5秒経過後に録音が始まります。

(例)USB機器に[FM802]を録音する場合

〈ディスプレイ〉



録音を止める

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

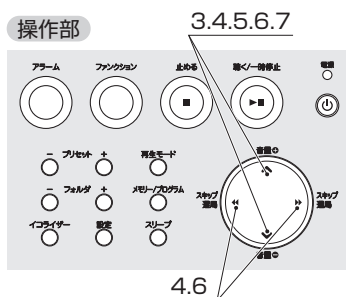
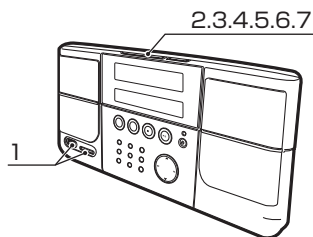
録音時間を設定してラジオから録音する

電源「切」の状態で

1. 録音に使用するUSB機器またはSDカードを本機に差し込む。(P. 14参照)
2. 「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを長押しする。
3. 「音量(+) (-)」ボタンで「[USB]または「[SD]」を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押して録音先を確定させる。
4. 「スキップ/選曲(◀▶)」ボタンで「[録音開始]時間」、「音量(+) (-)」ボタンで「[録音開始]分」を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
5. 「音量(+) (-)」ボタンで「録音時間」を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
• 最大90分まで設定できます。
6. 「音量(+) (-)」ボタンで「[AM]または「[FM]」を選び、「スキップ/選曲(◀▶)」ボタンで録音したい局を選んで、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。
7. 「音量(+) (-)」ボタンで「[ON]」を選び、「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

• 設定した録音開始時間になると、録音が始まります。

※ACアダプターをコンセントから抜くまでは、設定(録音開始時間・録音時間)は保存されています。上記手順7で「[OFF]」を選択した場合は録音が解除されますが、再度「[ON]」に設定すると、保存されている設定で自動的に録音を開始します。



録音を止める 「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

録音レベルについて

録音レベルは自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音声には影響しません。

アラームの使いかた

あらかじめ
時計を合わせておく。(P. 8参照)

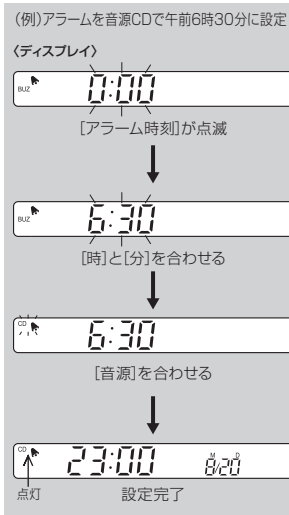
■設定した時刻に好みの音源を鳴らすことができます。

- 音源は[電子音]/[ラジオ]/[CD]/[USB機器・SDカード内の音楽データ]から選択できます。
- ※あらかじめ音源(ラジオ/CD/USB機器・SDカード)を準備してください。

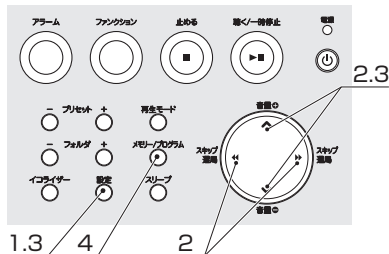
アラーム時刻を設定する ※アラーム音量は設定できません。

電源「切」の状態

1. 「設定」ボタンをゆっくり1回押す。
2. 「スキップ/選局(◀▶)」ボタンで[時]を、「音量(⊕)(⊖)」ボタンで[分]を合わせる。
3. 「設定」ボタンを1回押し、「音量(⊕)(⊖)」ボタンで[音源]を選ぶ。
4. 「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

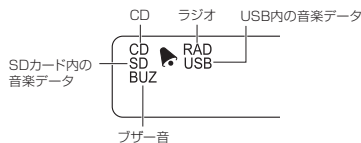


操作部



※約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

〈[音源]選択時のディスプレイ〉



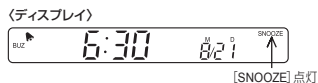
アラームを設定する ●音源を[電子音]にした場合 ●音源を[ラジオ/CD/USB機器・SDカード]にした場合	「アラーム」ボタンを押す。 (ディスプレイに選んだ[音源]が表示され、設定した時刻に音源が鳴ります。) アラームが鳴り続けて約1分間経過すると、自動的にスヌーズ機能が働きます。 ※アラームは徐々に大きくなります。 ●アラームが鳴り続けて約60分間経過すると、翌日の同時刻までアラームは停止します。 ※あらかじめCD、USB機器、SDカードがセットされていなければ、[電子音]に切り換わります。	鳴っているアラームを止める 「アラーム」ボタンを押す。 (翌日の同時刻まで停止します。)	アラームの解除 「アラーム」ボタンを押し、ディスプレイから[音源▶]を消す。
---	--	---	---

スヌーズ機能

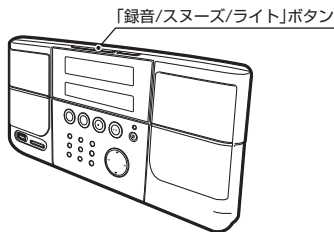
■鳴っているアラームを一時的に停止させることができます。

アラームが鳴っているとき

「録音/スヌーズ/ライト」ボタンを押す。



- 約9分間停止後、再び鳴り始めます。
- スヌーズ機能は3回繰り返され、4回目のアラーム後、翌日の同時刻まで停止します。



スヌーズ機能の解除

スヌーズが起動しているとき

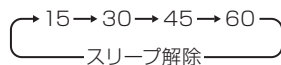
「アラーム」ボタンを押してディスプレイから「SNOOZE」を消す。

スリープ機能

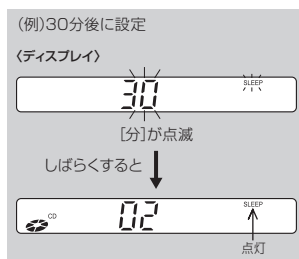
■設定した時間後に、自動的に電源を切ることができます。

CD/ラジオ/USB機器・SDカード内の音楽データを聴いている状態で

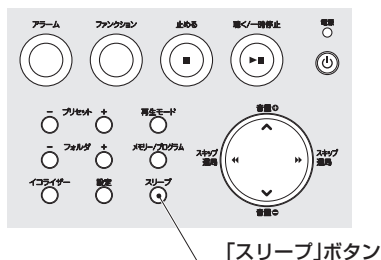
「スリープ」ボタンを押して、
設定したい時間に合わせる。



- 押すごとに設定時間(分)が変わります。



操作部



スリープ機能
を解除する

「スリープ」ボタンで
ディスプレイの[SLEEP]を消す。

残り時間を
確かめる

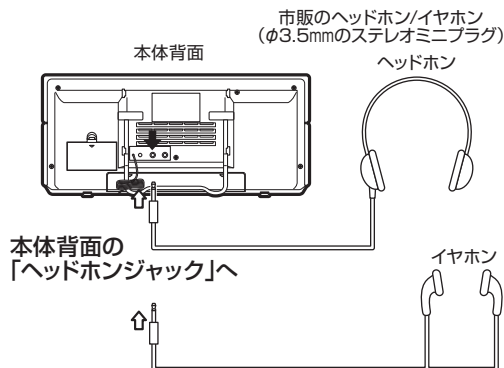
スリープ機能作動中

「スリープ」ボタンを1回押す。

市販のヘッドホン/イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン/イヤホンを本機につないで、演奏を聴くことができます。

つなぎかた



ご注意

- ヘッドホン/イヤホンを本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

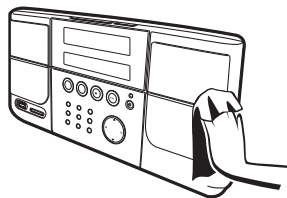
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



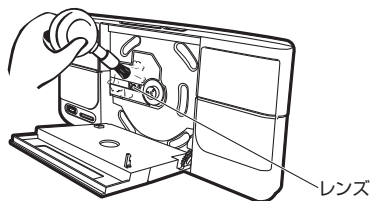
レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のプロアーで2~3回吹き、プロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをプロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

受信周波数	FM : 76~108MHz AM : 522~1629kHz	電源	2電源方式 ● AC100V 50/60Hz (付属ACアダプター使用時) ● 電池 単3形乾電池×6本(別売)
アンテナ	FM : ワイヤアンテナ AM : フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時(JEITA) 約8時間 CD再生時(JEITA) 約3.5時間 MP3ファイル再生時 約8時間(※)
スピーカー	7.7cm(4Ω)×2個	消費電力	13W
入力端子	AUX端子×1	最大外形寸法	約326(幅)×53(奥行)×142(高さ)mm
出力端子	ヘッドホンジャック×1	質量	約1.2Kg(乾電池含まず)
実用最大出力	2.2W+2.2W(JEITA)		
付属品	ACアダプター(型番:SAD-9001) 取扱説明書(本書) 保証書		

※SDカードに書き込んだMP3ファイルを再生して測定

●ACアダプター SAD-9001仕様

入 力	AC100V 50/60Hz 18VA	コード長	約1.9m
出 力	DC9V 1000mA	プラグ形状	Φ3.5mm

※本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思われたときは

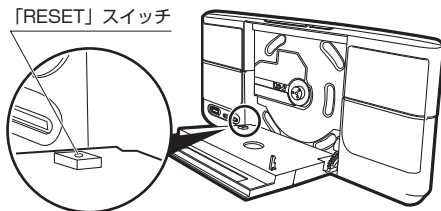
症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の＋－を確かめてください。
	ACアダプターがはずれていませんか？	正しく接続してください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「no」と表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 23 参照)
	レンズに霧や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDぶたを開け、1 時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
CDの音が飛ぶ。	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
USB 機器やSDカード内の音楽データを再生できない。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	MP3ファイル以外のデータ形式で記録していませんか？	本機で再生できるデータ形式はMP3ファイルのみです。WMAやWAVは再生できません。音源をあらかじめパソコンなどでMP3ファイルに変換してください。
AMラジオを録音すると雑音が入る。	USB機器がUSBコネクタに、SDカードがSDカードスロットにしっかり差し込まれていますか？	しっかり差し込んでください。
	電波の届きやすいところに置いていますか？	設置場所を確認してください。(P. 4参照) 電波環境によってはノイズが入ることがあります。(P. 19参照)

故障かな？と思われたときは

RESETスイッチについて

使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は「RESET」スイッチを押してください。

- 先の細いもので押してください。
- 「RESET」スイッチを押すと出荷時の初期状態になります。時刻設定、アラーム設定等はすべて消去されます。



アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用の音響機器の点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードやACアダプターが異常に熱い。
- 電源コードに深いキズや変形がある。
- コゲくさい臭いがする。
- その他の異常、故障がある。

ご使用
中 止

このような症状の時は、故障や事故
防止のため、スイッチを切り、コン
セントからACアダプターを抜いて
必ず販売店にご相談ください。

MEMO

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2015年10月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)